

生命の尊厳と地球環境蘇生運動に向けて
STSプロジェクト東京支局たより

ハーモニー ウェーブ
Harmony Wave

Vol.31 2017年6月

発刊元: (株)エステーエスプロジェクト 東京支局
〒108-0023 東京都港区芝浦2丁目17-10 新大友ビル6階
TEL:03-6435-3428 FAX:03-6435-3429
ホームページ: <http://www.stspro.com/>



5月14日 地球環境蘇生セミナー
東京 レポート

生命誕生の仮説を基に、科学の力で環境を蘇生しえる水を開発した、ロマン溢れる半田代表の講演の一部を紹介します。

● 本来あるべき科学の道

歴史を200年ほど遡った産業革命以降、時代のテクノロジーや科学は権力のために使われてきた。環境破壊や病気も、人間の文明が生命を考えず進んできた結果だ。物事には必ず原因と結果がある。国民が安心安全に暮らすために、科学がある。

● 生命を育む受皿

海底には真水の層がある。真水の層は2千年から2千150年かけて地球を一周し、宇宙からの素粒子エネルギーの受け皿になっている。真水は35〜36の元素でできており、人間の体を作る元素の数と同じである。水には60%の隙間が存在し、この隙間に35の元素をいれることが生命を育む受け皿になると気が付いた。

● 生命誕生 私の仮説

宇宙では常に星が生と死を迎えており、中性子爆発した後、あらゆるものが飛び交う。なかでも分子構造が小さい(4A〜7A)アミノ酸は、地球の大気圏に突入しても摩擦抵抗で燃え尽きず海中へと入る。海底の火山爆発が、火山口にくぼみを作り出し、ここでアミノ酸は火山と真水のエネルギーを受け、初期の生命発生が起こったので



はないかと考える。くぼみの形は女性の子宮と似ている。人間も類似し、子宮で精子と卵子が出会い火山のようにスパークを起こして生命を発生させる。

宇宙からの情報を無から有に変えるためには、アミノ酸とタンパク質にエネルギーの置換と交換、情報の代謝と交替という4つのプログラムが必要だ。その存在によりマグマの中でも生命誕生が不自然でなくなる。この仮説のなかで蘇生エネルギー情報調整装置を研究開発した。

● 初期化の場であるハーモニーウオーター

どういう水が地球を健康にできるのか。それは生命発生、誕生といった初期化の場を実現させることだ。人間は、宇宙のエネルギーで進化し生かされている。4つの結晶(水、鉱物、動植物のホルモン、微生物の酵素)が宇宙エネルギーを受け止める役割を担う。それらが宇宙のエネルギーを生体エネルギーに変換してくれるのだ。

● 常識の現実

そうした情報とエネルギーが水に溶けていないと初期化はおきない。ハーモニーウオーターはまさに生命の受け皿である。

今常識として認識される事は、過去のノーベル賞を大幅に否定する例もたくさんある。NASAでも水の結合角度が90度から180度と絶えず変化していることや、宇宙が非結晶であるのは常識となつた。今の科学では宇宙の構成も5%を除き、残り95%は特定できない。この5%しか分からない科学で物事を論じている現状がある。元素も113番目が見つかったているが、実際には何万個もあると考えている。地球の磁場の中で残つたのが93の元素ということだ。真理を追究しているところはたくさんある。他を否定して排除するのではなく、知的保留をして物事を見て、真実を理解し地球環境蘇生運動をしてほしい。



セミナー体験発表

発表内容の一部をご紹介します。



【歯科医
おおやま ようこ
大山鏡子さん】

14年前に癌が発病したとき、そして夫の介護と歯科診療の過労で体を壊したときも、STS製品に支えられたそうです。

STSへの思い

身体が何も受け付けなくなつたとき、Skyの水に「コンクリンガバランス」を入れて飲んで瞬間は、母乳を思い出し、私の体を暖かく抱き留めてくれる羊水のような水だと感じました。胎児に栄養を届ける血液も、全てほとんどが水でできています。地球の生物もみな健康で良く育つ、地球が喜ぶ水。これこそSTSの伝える科学、代表の作られる製品や水なのではないかなど思っています。代表の話の中で科学の本質に触れるとき、私の体が熱くなり、私の

胸の深いところがいつもワクワクします。

今は私を含めて社会がとてもし忙しく動き続け、私たちの気持ちも外ばかりに向いています。だから迷うこともたくさんあり、本来の自分からぶれてしまう。人間の体が発する声、本当の声（要求）に気付かないと子孫に綺麗な地球を遺すことはできないのではないかと。「自分の健康や幸せのため」だけでもいいけれど、それだけだとなんか寂しい。命はずっと受け継がれていくから、子どもがいてもいなくても、血がつながっていてもいなくても、生命の受け継ぎには関係ない。

今、地球規模でいろんな災害が起こっています。地球上の多くの人が犠牲になる前に気付きたいなって…。健康な地球の存続は私たち人類の幸せ、平和につながるのではないかしら？それってなんか嬉しいと思うのです。



【保育士
なめかわ なおみ
滑川直美さん】

新発売の「ABRM AX」に合わせて、旧タイプのSTR S A B R（以下、A B R）を活用していた体験を披露してもらいました。

予防環境を整えるA B R

私が勤務する保育園で、以前、感染症の予防としてA B Rを噴霧していました。その効果は抜群で、感染症が広まることもなかったのが、A B Rが使えなかった今年には広がってしまいました。一人の園児がおう吐すると、マニキュア通りに、全員を外へ避難させ、床には次亜塩素酸を30分湿布、全ての物を拭き上げます。そこまでしても感染症を防ぐことはできません。消毒をすると、手は荒れ、皮膚の常在菌まで殺してしまい、耐性菌を生みます。A B Rはそのような心配もなく、逆に肌もつるつるによくなくなるくらいで、素晴らしいと思っております。



【農業関係
たかはし みつる
高橋満さん】

Skyシリーズを導入した秋田県の農家3名の報告。中でも「農業の見える化」を目指している渡辺農園のお話が印象に残りました。

渡辺さんの稲作

今年には最新の残留農薬検査を行い、646項目中1項目のみ、0.021mg（科省の基準値の100分の1）が検出するのみとなった。カメムシ対策として空中散布する農薬の影響だ。来年はこの1項目も出さないために、Sky・725の水を空中散布すると決めたそう。食味値は、美味しいと言われる秋田こまちの72〜73を超える81点Aランク。データ詳細は、タンパク質が少ないため、水分吸収がよく、ナトリウムは平均値の2倍、他のミネラルも多かった。色彩選別する前の米でこの値なので、更に今後の期待が高まる。

<体験コーナーも好評>

セミナー会場には、会員さんによる体験コーナーが設けられました。日々愛用している会員さんの生の体験と説明を聞きながら、ニュー優美シャンプー、優雅石けん、ハノンデンタルα、M-80蘇生塩、OTETEなど15種類



の製品が体験できました。セミナー後はさっそく支局までお買い求めに来られた方も多くいらっしゃいました。やはり、まずは体験ですね！

2017年6月～8月 セミナー日程 (13:30～16:00)

6/ 4 (日)	高知セミナー	高新文化ホール
7/ 2 (日)	名古屋セミナー	AP名古屋、名駅6階P+Q
7/23 (日)	長野セミナー	長野支局
8/ 6 (日)	福岡セミナー	福岡国際会議場5階

- ・支局では、ハーモニーウォーターのお試し水汲み、学習会を行っています。日時詳細や内容はメールでお知らせしています。
- ・メール登録、メンテナンスの相談は支局へお問い合わせください。

【編集後記】

越えてきた時間は今の結果を示す。皆様のおかげでセミナーは盛況でした。また9月のセミナーへ。楽しく輪を広げていきましょう。



【会員さんからいただいたお花】